第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）4

座長:伊藤正憲(土木),鹿毛忠継(建築)
2024年6月27日(木) 13:15 〜 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1236]乾式炭酸化装置で作製した CO_2固定再生微粉および CO_2固定再生細骨材の性質

竹内勇斗[1], 池尾陽作[1], 門田浩史[1], 長原雄一[2] (1.竹中工務店 2.コトブキ技研工業)

キーワード：乾式炭酸化、攪拌、CO2固定、再生微粉、再生細骨材、含水率、密度・吸水率

本研究では，攪拌機能を有する閉鎖系乾式炭酸化装置を用いて CO_2固定再生微粉および CO_2固定再生細骨材の作製を行い，炭酸化条件が品質および CO_2固定に及ぼす影響について検討した。 CO_2固定再生微粉においては，再生微粉の含水率と攪拌が炭酸化に影響することが確認され，炭酸カルシウムや Ca/Si比と真密度との相関性が認められた。 CO_2固定再生細骨材の吸水率は，炭酸化前の再生細骨材の含水率が高いほど増加する傾向を示した。また，炭酸化前の再生細骨材の含水率によって炭酸化後の再生細骨材の表面状態が異なることが確認された。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会